

## みずほマーケット・トピック(2017年6月15日)

# FOMC を終えて~「笛吹けど踊らず」の状況強まる~

FOMC は FF 金利誘導目標を現行の「0.75~1.00%」から「1.00~1.25%」へ引き上げることを決定。政策メンバーによる金利見通し(ドットチャート)は年内あと 1 回、2018 年 3 回の利上げを見込んでおり、前回からイメージは変わっていない。注目されたバランスシート(B/S)の縮小に関しても、年内に着手する旨が声明文に初めて記載された。しかし、各種指標は明らかに冴えないものが増えており、FOMCが示唆するB/S縮小と利上げの併存が妥当なのか引き続き疑問。そもそも B/S 拡大を緩和と喧伝してきた経緯を踏まえれば、その逆は引き締めにほかならないはずであり、利上げとの併存が景気のオーバーキルに繋がるリスクはやはり気がかりである。会合前対比では米金利低下および円高が進んでおり、正常化プロセスへの信頼は高いとは言えない。FRB がタカ派を喧伝しても、市場は追随しない「笛吹けど踊らず」の状況が続きそう。

#### ~ 正常化プロセスへの信頼は高くない~

13~14日に開催された FOMC は FF 金利誘導目標を現行の「 $0.75 \sim 1.00\%$ 」から「 $1.00 \sim 1.25\%$ 」へ引き上げることを決定した。政策メンバーによる金利見通し(ドットチャート)は年内あと 1 回、2018年3回の利上げを見込んでおり、前回3月分からイメージは変わっていない。注目されたバランスシート(B/S)の縮小に関しても、年内に着手する旨が声明文に初めて記載されている。今回は声明文、スタッフ経済見通し(SEP)に加えて、「政策正常化の原理と計画(the Policy Normalization Principles and Plans)」と題した付属文書も公表されており、ここで保有資産の再投資停止額に関し、米国債は60億ドル/月から始めて最大300億ドル/月、住宅ローン担保証券は40億ドル/月から始めて最大200億ドル/月へ3か月ごとに拡大していく方針が示されている。

為替相場では会合直前に公表された米 5 月消費者物価指数(CPI)や米 5 月小売売上高が市場予想比悪化したことを背景にドル売りが加速しており、ドル/円相場は一時 108.81 円まで急落する場面が見られた。しかし、FOMC の変わらぬタカ派スタンスを受けて値を戻している。とはいえ、会合前対比では米金利低下と円高が進んでおり、正常化プロセスへの信頼は高いとは言えない。

#### ~B/S 正常化計画のイメージ~

声明文には目立った変化がないものの、「経済が予測通りに広く進展するならば、年内に B/S の正常化計画を導入することを考えている。償還元本の再投資を減少させることによって証券保有額を漸減させるこの計画に関しては、付属文書である『委員会の策正常化の原則と計画』で解説する」との記述が加わったことが大きな変化である。上述した通り、米国債は 60 億ドル/月から始めて最大 300 億ドル/月、住宅ローン担保証券は 40 億ドル/月から始めて最大 200 億ドル/月へ 3 か月ごとに拡大していく方針が示されている。この点、市場の関心は「どのくらい減少させるか」だが、現段階では「金融政策を効率的かつ効果的に導入するにあたって、もうこれ以上の保有が必要ないと

FRB が判断するまで(until the Committee judges that the Federal Reserve is holding no more securities than necessary to implement monetary policy efficiently and effectively)」と述べられるにとどまっている。最終的な B/S のサイズも現段階では明示されていないものの、「近年見られている水準よりは大分小さいが、金融危機前よりは大きい(a level appreciably below that seen in recent years but larger than before the financial crisis)」といった表現で示されている。現在が約 4.5 兆ドル、危機前(2006 年末)が約 8800 億ドルであるため意味するレンジはあまりにも広いが、中間点とすれば約 2.5~3.0 兆ドルといったイメージだろうか。とすれば、現状対比で最大 2 兆ドルの B/S 縮小となるが、想定される最速ペースである 500 億ドル/月で進めても 3 年以上(40 か月)かかる。

この程度のペースであれば市場への影響も限定的なものになりそうだが、もちろん米国債やMBS の最終需要が分からない以上、確たることは言えない。特に、米国債に関してはトランプ政権下での拡張財政の行方がその需給環境に大きな影響を与えるはずだが、周知の通り、その先行きは全く分からない。なお、「FF 金利の誘導レンジを調整することが金融政策スタンスを調整するための主要ツールであることを確認した(The Committee affirms that changing the target range for the federal funds rate is its primary means of adjusting the stance of monetary policy)」と書かれている。これは B/S 縮小が利上げを代替するものではなく、併存し得ることを示唆していると思われる。とはいえ、B/S 拡大を緩和と謳ってきた経緯がある以上、今更その理屈で納得する向きは多くないだろう。B/S 縮小と利上げの併存は強烈な金融引き締めになると考えるのが自然であり、これが米経済のオーバーキルに繋がることを引き続き筆者は懸念したい。

#### ~ 自然失業率は低下? ~

ドットチャートは年内にあと1回、2018年 には3回の利上げを見込む構図が据え置 かれており、中立金利も3%で横ばいであ る。上述しているように、FRB は利上げと B/S 縮小を区別している節があるため、 B/S 縮小計画を示したからといって利上げ プロセスを修正する必要は無いというのが 基本認識になるのだろう。こうしたドットチャ ートのイメージが正しければ2019年には中 立金利に到達しており、金融政策は淡々 と B/S の縮小を進めているという姿だけ が残ることになる。しかし、3月時点のスタ ッフ経済見通しの計数(実質 GDP 成長 率、失業率、コア PCE デフレータ)のう ち、6 月時点で達成できていたのは失業 率だけであり、実質 GDP 成長率とコア PCE デフレータは見通しを下回っている のが現実である。にもかかわらず、利上

各年末の政策金利見通し(予想中央値)

日中不必从朱亚和沙坦(1)80年入屋)						
FOMC Date	2017	2018	2019	Longer run		
Jun-14	n.a.	n.a.	n.a.	3.75%		
Sep-14	3.75%	n.a.	n.a.	3.75%		
Dec-14	3.625%	n.a.	n.a.	3.75%		
Mar-15	3.125%	n.a.	n.a.	3.75%		
Jun-15	2.875%	n.a.	n.a.	3.75%		
Sep-15	2.625%	3.313%	n.a.	3.50%		
Dec-15	2.375%	3.250%	n.a.	3.50%		
Mar-16	1.875%	3.000%	n.a.	3.25%		
Jun-16	1.625%	2.375%	n.a.	3.00%		
Sep-16	1.125%	1.875%	2.625%	2.90%		
Dec-16	1.375%	2.125%	2.875%	3.00%		
Mar-17	1.375%	2.125%	3.000%	3.00%		
Jun-17	1.375%	2.125%	2.938%	3.00%		

(資料)FRB

FRBの経済見通し(大勢見通し、%)、 2017年6月時点

	2017	2018	2019	長期見通し
実質GDP成長率	2.1 ~ 2.2	1.8 ~ 2.2	1.8 ~ 2.0	1.8 ~ 2.0
(3月時点)	(2.0 ~ 2.2)	(1.8 ~ 2.3)	(1.8 ~ 2.0)	(1.8 ~ 2.0)
失業率	4.2 ~ 4.3	4.0 ~ 4.3	4.1 ~ 4.4	4.7 ~ 5.0
(3月時点)	(4.5 ~ 4.6)	(4.3 ~ 4.6)	(4.3 ~ 4.7)	(4.7 ~ 5.0)
PCEインフレ率	1.6 ~ 1.7	1.8 ~ 2.0	2.0 ~ 2.1	2.0
(3月時点)	(1.8 ~ 2.0)	(1.9 ~ 2.0)	(2.0 ~ 2.1)	(2.0)
PCEコアインフレ率	1.6 ~ 1.7	1.8 ~ 2.0	2.0 ~ 2.1	
(3月時点)	(1.8 ~ 1.9)	(1.9 ~ 2.0)	(2.0)	

(資料)FRB

げを敢行し、B/S 縮小プランを発表したことについては、やはり現状との齟齬は覚える。

なお、スタッフ見通しで示され自然失業率と見なされる長期失業率(4.85%)を既に大きく割り込んでいるにもかかわらず物価が加速してこない状況は FRB にとって相当不都合なものであり、今後は物価の停滞に関しては徐々に言い訳が難しい局面に入ってくることになる。この点、前頁表にも示されるように、今回のスタッフ見通しで失業率見通しが低下している一方、コア PCE デフレータは不変であったことが示唆的である。これは要するに、長期失業率の見通しこそ不変であるものの、FRB が本音で想定する自然失業率は低下しており、物価が+2%に到達するためにはさらなる失業率の低下が必要という建付けが意識されているようにも読める。

### ~ドル/円が100円割れを臨む展開変わらず~

3月利上げ時と同様、今回もカシュカリ・ミネアポリス連銀総裁だけが反対票を投じている。同氏の3月時点の反対理由は前回会合(当時から見れば2月会合)から経済指標に特筆すべき改善が確認されないためという趣旨だった。一連の反対理由はミネアポリス連銀のHPでエッセイ『何故、私は反対したのか(Why」Dissented)』として公表されたが、今回も同様のアクションがあるのか注目



したい。恐らく、今回もカシュカリ総裁は同様の反対理由を抱いたはずである。前回の5月会合から今会合に至るまでに米経済指標は改善するどころか予想比冴えないものが続いている。今回の会合直前に発表された5月CPIは前月比横ばい予想に対し下落(0.1%)であり、5月小売売上高は増加予想に対して減少(0.3%)だった。5月雇用統計も非農業部門雇用者数変化および平均時給共に市場予想を下回った。市場参加者がこうした米実体経済の現状を捉えているからこそ、米金利のイールドカーブは一向にスティープ化してこないのだろう。図示されるように、年初からのイールドカーブはFRBの順調な正常化プロセスとは裏腹にベアフラット化傾向を強めている。

本欄や『中期為替相場見通し』では<u>こうした正常化プロセスに対する FRB と市場参加者の受け</u> 止め方の違いを指して「笛吹けど踊らず」と述べてきた。<u>いくら中央銀行が正常化プロセスの必要性を喧伝したところで、目先の政策変更には(渋々)追随するにせよ、先行きまでは信じ切れないというのが市場の本音と見受けられる</u>。FRB の描く青写真は「今年9月に利上げを行い、12月にB/S縮小をスタートし、来年3月以降は3か月ごとの利上げとB/S縮小が並行する」というものだが、これは筆者にとってはアップサイドリスクであり、為替的には円安リスクである。

メインシナリオは、年内利上げは今回で終了、B/S 縮小計画は年明け以降に着手という想定が 妥当ではないかと考える。引き続き米金利低下の下でドル相場全体が下落し、今後 1 年でドル/円 相場は 100 円割れを臨む展開となることを予想したい。

国際為替部

チーフマーケット・エコノミスト 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065) daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ\_backnumber.html

1.		.co.jp/forex/econ.html (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ backnumber.html
2007年8月12日	発行年月日	過去6か月のタイトル
2007年4月1日		
2017年9月1日		
2017年3月1日		
2017年8月1日 10月1条17日2 11日の独木で見たと一変わり始めた3米の効果		
2017年9月19日		
2017年3月1日 2017		
2017年5月1日 2017年5月2日 2017年5月1日 2017		
2017年5月28日 日本版(本州月月東産會動植物域(ロ))を対すて全体数、理からいり年物情報を一) 2017年5月28日		
2017年5月20日	2017年5月29日	
2017年9月34日   東次いで野北にするでPRRASE 機能が必要・一次また。	2017年5月26日	週末版(本邦4月消費者物価指数(CPI)を受けて~依然、埋まらない日米物価格差~)
* 本種色大育音楽の2019年2019 - 動作(2017年4月20)  2017年3月21日		
2017年5月23日 メルルの直側を設定して、アクロードの (1997年5月12年)	2017年5月24日	
2017年5月12日   ドル田参の説は読べられて、日本のでは、日本	0017/75	
2017年5月19日		
2017年5月11日 ドレーゲーアシスの悪名を繋げて		
2017年5月16日 ユーロ暗像の設成について、色鏡形が影響のか 2017年5月17日		
2017年5月19日		
2017年5月1日   円担保の基性的能配置の「様変わりする配へ 2017年5月1日   大学の上の作品では、物です。 1017年5月1日   大学の上の作品では、物です。 1017年5月1日   大学の上の作品では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中		
2017年5月10日 来ルプン県特性差が終す来継条への遺憾	2017年5月12日	週末版(欧州委員会春季経済予測を受けて~今後心配な「スラックの格差」~)
2017年4月2日	2017年5月11日	
2017年4月2日 フランス本情経業を参配とて「2017年4月2日 出来版(2018年2月2日 日本) 1217年4月2日 に2017年4月21日 に2017年4月21日 に2017年4月21日 に2017年4月21日 と2017年4月21日 と2017年4月21日 と2017年4月21日 と2017年4月21日 と2017年4月2日 日本年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年		
2017年4月28日		
2007年4月27日   日の日味会アルビュー型・フィワードガイダンス発展機関について   本料日上が変更の対け食金の   2017年4月24日   メインンドリオのリスク音像・場合   第二次フライ音像   投資   2017年4月27日   老年版 (Cの日味会アレビュー・今年はアメワードガイダンスの取り扱い~)   2017年4月27日   老年版 (Cの日味会アレビュー・今年はアメワードガイダンスの取り扱い~)   2017年4月27日   老年版 (Cの日味会アレビュー・今年はアメワードガイダンスの取り扱い~)   2017年4月17日   大会を設定を担当した。   2017年4月17日   大会を返産を企業の   2017年4月17日   大会を受験の   2017年4月17日   大会を受験の   2017年4月17日   アルビス   2017年4月17日   2017年4月17		
本部組入投資家の対外資金プロー動向2017年3月分の 2017年4月32日		
2017年4月26日	2017年4月27日	
2017年4月21日   2ラノス大統領選挙第1日2第一巻日本277一十747・27×20 郊り扱い〜) 2017年4月30日   米金利低下と日南相等一党資家に対ったの「内1~~ 2017年4月31日   米金利低下と日南相等一党資家に対ったの「内1~~ 2017年4月31日   光色波楽の自然と、東京・(株代)・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・	2017年4月25日	
2017年4月20日		
2017年4月9日 大会角板下と門高相様・授賞家に対からり向い〜 2017年4月18日 東京俊楽の中間、東京・優地ではいたいないへへ 2017年4月18日 東京俊楽の中間、東京・俊地ではいたいないへへ 2017年4月18日 2017年4月		
2017年4月18日		
2017年4月18日 選邦係(係然として懸念されるユーロ圏の境内格差~顕著になる「地力の差」~) 2017年4月18日 認かて考えるがシーニックの在り方 2017年4月18日 記載(1608理事金編事業日~地大ススワンと対小証券投資~ 2017年4月18日 記載(1608理事金編事業日~地大ススワンと対小証券投資~ 2017年4月6日 「OMC議事を変を受けて「OS 18%からトルスよしは扱いす~ 2017年4月6日 「OMC議事を変を受けて「OS 18%からトルスよしは扱いす~ 2017年4月6日 「A 対象準備無違意の受験して18%からトルストは扱いす~ 2017年4月6日 「大学権権監査の関数(2018年17月末時) 2017年4月3日 「大学権権監査の関数(2018年17月末時) 2017年3月3日 「国本版 「OS 2018年3月18日 「国本版 「OS 2018年3月3日 「日本版 2018年3月3日		英総選挙の前倒し実施~「絶対に負けられない戦い」へ~
2017年4月18日 改めた考えらポリシーシックスの任立方 2017年4月18日 対象のであるとポリシーシックスの任立方 2017年4月18日 対象として、 2017年4月18日 対象として、 2017年4月18日 対象として、 2017年4月18日 対象として、 2017年4月18日 対象として、 2017年4月18日 対象として、 2017年4月8日 対象として、 2017年5月80日 コーロの物価に関する現状と選尾で・ 2017年5月80日 コーロの物価に関する現状と関係と関係と関係と、 2017年5月80日 コーロの物価に関する現状と関係と関係と関係と関係と関係と関係と関係と関係と関係と関係と関係と関係と関係と		
2017年4月12日 対抗人の「リスク回説の円頂いりの姿態性 (1974年月7日 201744月7日 201744月7日 201744月7日 (1974年月7日 201744月7日 でのに需要を設定を対すているがかったが、対しては限めていません。		
2017年4月1日 円相場の基礎的素能環境・ベーシススワップと対対経療投資~ 2017年4月6日   図本版にGUB事会議事を買き、企業を養殖をPOPの登基の音へ) 2017年4月6日   図っ始な米以上行気効率・リングナーがあり、ショウン・カーク 対算・単原・製造・製造・製造・製造・製造・製造・製造・製造・製造・製造・製造・製造・製造・		
2017年4月6日   2017年4月7日   2017年4月8日   500低音楽音楽音を受けて、PSMの中外内点(上級ライタ)   2017年4月8日   2017年4月8日   2017年4月8日   2017年4月8日   2017年4月3日   2017年4月2日   2017年4月1日   2017年4月1日   2017年4月3日   2017年4月1日   2017年4月4日   2017年4月1日   2017年4月1		
2017年4月8日   FOMC議事要官を受けて、FDS線小下ドル高」とは限らず~ 2017年4月4日   投資率機構成置質の提供2016年12月末時点) 2017年4月4日   投資率機構成置質の提供2016年12月末時点) 2017年4月30日   出末版 2017年4月30日   出末版 2017年4月30日   出末版 2017年4月30日   出末版 2017年4月30日   土の画の物価に関する現状と展堂~ECBへの影響~ ユーロ画の物価に関する現状と展堂~ECBへの影響~ 地グージャプリスクログースの目のでは、1017年4月分) 2017年4月21日   北京版学に開設の正式金店について、当事の展堂や金替見遠し~) 2017年4月22日   ボルブ・シア・バブ・クリスクログース・当事の展堂や金替見遠し~) 2017年4月21日   出末版で見解的水平像について、当時の展堂や金替見遠し~) 2017年4月11日   出来版「包食路政策政党を受けて~ベーン・1127割れた受けて~ 2017年4月11日   出来版で見解的水平像について、1127割れた受けて~ 2017年4月11日   出来版「日発を施政策政党を受けて、イン・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア		
2017年4月5日		
2017年4月4日 州資本機構改進資の設伏(2016年12月末時点) 2017年4月31日 200万年6月31日 200万年6月31日 2017年4月31日 2017年4月31日 2017年4月31日 2017年4月31日 2017年4月31日 2017年4月31日 2017年4月31日 2017年4月31日 2017年4月31日 2017年4月41日 2017年4月		
2017年3月31日 選末版 2017年3月29日 大杉優人投資家の対外資金フロー動向(2017年3月24) 2017年3月29日 大杉のナナナのソスのは、参響者の4月中旬~ 2017年3月24日 選末版(英足り離散の正式通告について・当面の展堂や為替見通し~) 2017年3月24日 選末版(英足り離散の正式通告について・当面の展堂や為替見通し~) 2017年3月21日 パーデンパーデン(2026を受けて、前時観は米国に平配~ 2017年3月16日		
2017年3月31日 選末版 2017年3月29日 大杉優人投資家の対外資金フロー動向(2017年3月24) 2017年3月29日 大杉のナナナのソスのは、参響者の4月中旬~ 2017年3月24日 選末版(英足り離散の正式通告について・当面の展堂や為替見通し~) 2017年3月24日 選末版(英足り離散の正式通告について・当面の展堂や為替見通し~) 2017年3月21日 パーデンパーデン(2026を受けて、前時観は米国に平配~ 2017年3月16日		
2017年3月28日	2017年3月31日	週末版
2017年3月22日 海末版 全に関節の正式 音について、一部の では、		
2017年3月4日		
2017年3月2日 ドルア日相場の水準感について、112円割札を受けて、 2017年3月16日		
2017年3月12日		
2017年3月15日   海末版(日鎖金融政策決定会会を終えて〜再確認したい現行枠組みの脆弱性〜) 2017年3月16日   FOMCを受けて〜さほどかぶにあらず?〜 2017年3月16日   米インフル開係低迷から何を誘むか・FOMCを前に〜 2017年3月16日   水インフル開係低速から何を誘むか・FOMCを前に〜 2017年3月19日   海末版 2017年3月19日   海末版(メアンナリオの)スク点(PSPP)の現状と展望 2017年3月27日   日本税金人投資家の対外資金フロー動向(2017年1月分) 2017年2月21日   ユーロ圏投資アント統計・ユーロ安の底流にあるもの〜 2017年2月21日   海末版(メインンナリオの)スク点(PSPP)の現状と展望 2017年2月21日   海末版(メインンナリオの)スク点を映一間動の所在は全変わらず〜) 2017年2月21日   コー国股投資アント統計・ユーロ安の底流にあるもの〜 2017年2月19日   海末版(米12月対内・対外監券投資(TIOLボート)・今対米資本フローに表れる不信感〜) 2017年2月17日   海末版(米12月対内・対外監券投資(TIOLボート)・今対米資本フローに表れる不信感〜) 2017年2月18日   日米首脳会談を終えて〜円高等成は探げず〜 2017年2月19日   田米首脳会談を終えて〜円高等成は探げず〜 2017年2月19日   海末版(トランプ大統領が日本を付け狙う理由〜「返り血」が少ない喧嘩相手?〜) 2017年2月19日   日報金融の素的定数を終すて単立の技術と受けて〜 2017年2月19日   日報金融の素的定数を終すて単立の技術と受けて〜 2017年1月30日   メインンナリオのリスク点接・不孝を生むドル高に誘かず〜 2017年1月30日   メインシナリオのリスク点接・イデーをとせむドル高に誘わず〜 2017年1月28日   日銀による随何環切入れオへ見速りへ動物ののあみ方〜 本が個人投資家の対外資金フロー動向(2016年12月分) 2017年1月28日   日銀・大阪原州が大会で   日間による随何環境、「本の形内部別へ 2017年1月3日   日銀・大阪原州が大会で   日間によるが開環して   東京版   日間によるが開環し、 東京版   日間によるが開環し、 東京版   日間によるの別環し入れオへ見速りへの影内がよりに対して   日間によるの別を対外が大会で   日間によるの別を対外が大会で   日間によるの別を対外が大会で   日間によるの別を対外が大会で   日間によるの別を対外が大会で   日間によるの別を対外が大会で   日間によるの別を対外が大会で   日間によるの別を対外が大会で   日間によりに対外が大会で   日間によりに対外が大会で   日間によりによりに対外が大会で   日間によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに		
2017年3月16日		
2017年3月14日		
2017年3月13日   2017年3月10日   2017年3月10日   2017年3月10日   2017年3月2日   2017年3月2日   2017年3月2日   2017年3月2日   2017年3月2日   2017年3月2日   2017年3月21日   2017年3月21日   2017年3月21日   2017年2月21日   2017年2月21日   2017年2月21日   2017年2月21日   2017年2月21日   2017年2月22日   本邦婦上党軍の保護・の間間の所在は全ぐ変わらず~)   2017年2月22日   本邦婦上党軍の対外資金フロー動向(2017年1月分)   2017年2月21日   2017年2月21日   2017年2月21日   2017年2月21日   2017年2月21日   2017年2月31日   2017年2月3日	2017年3月15日	米インフレ期待低迷から何を読むか~FOMCを前に~
2017年3月3日 週末版 2017年3月2日 本邦輸出企業の採算レートやそこから推測される展開 2017年3月2日 日の17年3月1日 ECB理事会プレビュー〜進む土地駅、戻る土地駅 2017年2月21日 日の17年2月21日 日の17年2月27日 日の17年27日27日27日27日27日27日27日27日27日27日27日27日27日2		
2017年3月3日 週末版		
2017年3月1日 ECB理事会プレビューへ進むも地源、原名も地源へ 2017年2月27日 ECB、公的部門購入プログラム (PSPP) の現状と展望 2017年2月27日 ECB、公的部門購入プログラム (PSPP) の現状と展望 2017年2月27日 国来版(メインシナリオのリスク点検 ~問題の所在は全く変わらず~) 2017年2月21日 コーロ圏投資アンド統計~ユーロ安の意流にあるもの~ 2017年2月21日 ユーロ圏投資アンド統計~ユーロ安の意流にあるもの~ 2017年2月21日 ユーロ圏投資アンド統計~ユーロ安の意流にあるもの~ 2017年2月10日 (日本版) ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※		
2017年3月1日   ECB理事会プレビュー〜進むも地獄、長も地獄〜		
2017年2月27日		
2017年2月24日		
2017年2月22日 本邦個人投資家の対外資金フロ一動向(2017年1月分) 2017年2月12日 ユーロ圏投資ファンド統計~ユーロ安の底流にあるもの~ 2017年2月17日 週末版(米12月対内・対外証券投資(TICレボート)~対米資本フローに表れる不信感~) 2017年2月17日 週末版(米12月対内・対外証券投資(TICレボート)~対米資本フローに表れる不信感~) 2017年2月18日 イエレンFRE議長議会証言を受けて~正常化を止めるのはドル高か~ 2017年2月18日 日米首脳会談を終えて~円高警戒は解けず~ 2017年2月19日 週末版(用態する対ドイツ格差問題~新しい欧州経済・金融のテーマ~) 2017年2月19日 週末版(円橋の基礎の需給環境~2016年国際収支を受けて~ 2017年2月3日 日銀金融政策決定会会~トランプとFTPLの狭間で~ 2017年2月1日 日銀金融政策決定会会~トランプとFTPLの狭間で~ 2017年1月3日 日銀による国債買い入れオペ見送り~為替からの読み方~ 本邦個人投資家の対外資金プロ一動向(2016年12月分) 2017年1月25日 日銀による国債買い入れオペ見送り~為替からの読み方~ 本邦個人投資家の対外資金プロ一動向(2016年12月分) 2017年1月23日 日銀による国債買い入れオペ見送り~為替からの読み方~ 本邦個人投資家の対外資金プロ一動向(2016年12月分) 2017年1月28日 日銀による国債買い入れオペ見送り~為替からの読み方~ 2017年1月28日 日銀による国債買い入れオペ見送り~為替からの読み方~ 2017年1月19日 日銀本版 2017年1月19日 日の動信・物価状況~ECBは慢心せず~ 2017年1月19日 改善が顕著なユーロ圏の与信・物価状況~ECBは慢心せず~ 2017年1月19日 改善が顕著なユーロ圏の与信・物価状況~ECBは慢心せず~ 2017年1月18日 との理事会がレビュー~「可能な限り、現状維持」が本音~ 2017年1月18日 日の敵にされる4つの通貨~対米黒字を稼ぐ「悪」の枢軸?~ 2017年1月18日 日の歌にから4つの通貨・対水に今日の財政・2017年1月18日 日の歌にから4つの通貨・対水黒字を稼ぐ「悪」の枢軸?~ 2017年1月1日 日の歌にから4つの通貨の財水(2016年9月末時点)~ユーロの独り負けだった過去3年~) 2017年1月1日 日間歌金融のトリルンマ」を通じた日中止較 2017年1月1日 「国際金融のトリルンマ」を通じた日中止較 2017年1月1日 「国際金融のトリルンマ」を通じた日中止較 2017年1月1日 日際金融のトリルンマ」で申載とこいで~ラッサはどこまで続くか~		
2017年2月21日 ユーロ圏投資ファンド統計~ユーロ安の底流にあるもの~ 2017年2月17日 ECB理事会議事要宣・窮屈になる追加緩和の環境~ 2017年2月17日 規末版(米12月対内: 対外断券投資(TICLボート)・対米資本フローに表れる不信感~) 2017年2月15日 イエレンFRB議長議会証言を受けて~正常化を止めるのはドル高か~ 2017年2月18日 ドル高を信用できない金融市場の現状へ需給への影響も~ 2017年2月19日 日米首脳会談を終えて~円高警戒は解けず~ 2017年2月19日 日根場の基礎的需給環境~2016年国際収支を受けて~ 2017年2月9日 円相場の基礎的需給環境~2016年国際収支を受けて~ 2017年2月9日 円相場の基礎的需給環境へ2016年国際収支を受けて~ 2017年2月1日 日銀金融政策決定会合~トランプとFTPLの狭間で~ 2017年1月30日 メインシナリオのリスク点検~不幸を生むドル高は続かず~ 2017年1月30日 メインシナリオのリスク点検~不幸を生むドル高は続かず~ 2017年1月26日 日銀による国債買い入れオペ見送り~為替からの読み方~ 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年12月分) 2017年1月27日 関象収支の調整経路~「理不尽な円高」は不可避か~ 2017年1月28日 医の理事会を終えて~窮屈になる緩和環境~ 2017年1月31日 改善が顕著なユーロ圏の与信・物価状況~ECBは慢心せず~ 2017年1月18日 水英首相演説を受けて~反EUの「悪い見木」になるのか?~ 2017年1月18日 とGB理事会を終えて~窮屈になる緩和環境~ 2017年1月18日 大英首相演説を受けて~反EUの「悪い見木」になるのか?~ 2017年1月17日 日の敵にされる4つの通貨~対米黒宇を稼ぐ「悪」の枢軸?~ 2017年1月18日 場末版(円相場における実需と投機の現状について~対外証券投資にまつわる懸念事項も~) 2017年1月1日 「国際金融のトリレンマ」を通じた日中比較 2017年1月1日 「日際金融のトリレンマーでの現り場けだった過去3年~) 2017年1月1日 「日際で財・大りを受けて		
2017年2月19日   週末版(米12月対内・対外証券投資(TICL・ボート) ~ 対米資本フローに表れる不信感~)		
2017年2月15日 イエレンFRB議長議会証言を受けて~正常化を止めるのはドル高か~ 2017年2月14日 ドル高を信用できない金融市場の現状~需給への影響も~ 2017年2月10日 週末版(再燃する対ドイツ格差問題~新しい欧州経済・金融のテーマ~) 2017年2月3日 週末版(再燃する対ドイツ格差問題~新しい欧州経済・金融のテーマ~) 2017年2月3日 週末版(トランプ大航領が日本を付け狙う理由~「返り血」が少ない喧嘩相手?~) 2017年2月3日 日銀金融政策決定会合~トランプとFTPLの狭間で~ 2017年1月30日 メインシナリオのリスク点検~不幸を生むドル高は続かず~ 2017年1月30日 メインシナリオのリスク点検~不幸を生むドル高は続かず~ 2017年1月27日 週末版 2017年1月27日 週末版 2017年1月28日 日銀による国債買い入れオペ見送り~為替からの読み方~ 本邦個人投資家の対外資金フロー助向(2016年12月分) 2017年1月28日 (2017年1月28日 との理事会を終えて~窮屈になる緩和環境~ 2017年1月28日 との理事会を終えて~窮屈になる緩和環境~ 2017年1月19日 改善が顕著なユーロ圏の与信・物価状況~ECBは慢心せず~ 2017年1月19日 改善が顕著なユーロ圏の与信・物価状況~ECBは慢心せず~ 2017年1月19日 日の敵にされる4つの通貨~対米黒字を稼ぐ「悪」の枢軸?~ 2017年1月18日 との理事会プレビュー~「可能な限り、現状維持」が本音~ 2017年1月18日 週末版(円相場における実需と投機の現状について~対外証券投資にまつわる懸念事項も~) 2017年1月18日 週末版(円相場における実需と投機の現状について~対外証券投資にまつわる懸念事項も~) 2017年1月18日 週末版(外資準価表成通貨の現状(2016年9月末時点)~ユーロの独り負けだった過去3年~) 2017年1月6日 週末版(外資準価表面通貨の現状(2016年9月末時点)~ユーロの独り負けだった過去3年~) 2017年1月6日 週末版(外資準価表面通貨の現状(2016年9月末時点)~ユーロの独り負けだった過去3年~) 2017年1月5日 日本版(外資準価表面通貨の現状(2016年9月末時点)~ユーロの独り負けだった過去3年~) 2017年1月5日 日本版(外資準価表面通貨の現状(2016年9月末時点)~ユーロの独り負けだった過去3年~) 2017年1月5日 日本のドル相場について~空中戦はどこまで続くか~ 2016年12月27日 2017年、為替相場の動所~実効ベースで複販的に~	2017年2月20日	ECB理事会議事要旨~窮屈になる追加緩和の環境~
2017年2月13日		
2017年2月13日 日米首脳会談を終えて〜円高警戒は解けず〜 2017年2月10日 週末版(再燃するがドイツ格達問題〜新しい欧州経済・金融のテーマ〜) 2017年2月3日 円相場の基礎的需給環境〜2016年国際収支を受けて〜 2017年2月1日 日銀金融政策決定会合〜トランプとFTPLの狭間で〜 2017年1月30日 メインシナリオのリスク点検〜不幸を生むドル高は続かず〜 2017年1月27日 週末版 2017年1月27日 週末版 2017年1月27日 四級を設定を受けて〜 2017年1月27日 四級による国債買い入れオペ見送り〜為替からの読み方〜 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年12月分) 2017年1月25日 貿易収支の調整経路〜「理不尽な円高」は不可避か〜 2017年1月23日 ECB理事会を終えて〜窮屈になる緩和環境〜 2017年1月20日		
2017年2月10日   週末版(再燃する対ドイツ格差問題〜新しい欧州経済・金融のテーマ〜)   2017年2月9日   円相場の基礎的需給環境〜2016年国際収支を受けて〜   2017年2月3日   週末版(トランプ大統領が日本を付け狙う理由〜「返り血」が少ない喧嘩相手?〜)   2017年2月1日   日銀金融政策決定会合〜トランプとFTPLの狭間で〜   2017年1月30日   メインシナリオのリスク点検〜不幸を生むドル高は続かず〜   2017年1月27日   週末版   2017年1月26日   日銀による国債買い入れオペ見送り〜為替からの読み方〜   本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年12月分)   2017年1月25日   貿易収支の調整経路〜「理不尽な円高」は不可避か〜   2017年1月25日   貿易収支の調整経路〜「理不尽な円高」は不可避か〜   2017年1月20日   週末版   2017年1月20日   週末版   2017年1月20日   2017年1月18日   大美首相演説を受けて〜反EUの「悪い見本」になるのか?〜   2017年1月18日   メイ英首相演説を受けて〜反EUの「悪い見本」になるのか?〜   2017年1月18日   メイ英首相演説を受けて〜反EUの「悪い見本」になるのか?〜   2017年1月16日   国の敵にされる4つの通資〜対米黒字を稼ぐ「悪」の枢軸?〜   2017年1月16日   道末版(円相場における実需と投機の現状について〜対外証券投資にまつわる懸念事項も〜)   2017年1月1日   国際金融のトリレンマ」を通じた日中比較   2017年1月1日   国際金融のトリレンマ」を通じた日中比較   2017年1月6日   週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)〜ユーロの独り負けだった過去3年〜)   2017年1月5日   万級金融のトリレンマ」を通じた日中比較   2017年1月5日   万の低議事要旨(12月13〜14日開催分)を受けて   2017年1月5日   2017年のドル相場について〜マ中戦はどこまで続くか〜   2017年1月4日   2017年のドル相場について〜空中戦はどこまで続くか〜   2017年1月4日   2017年のドル相場について〜空中戦はどこまで続くか〜   2017年、為替相場の動所〜実効ペースで使眼的に〜		
2017年2月3日		
2017年2月3日 週末版(トランプ大統領が日本を付け狙う理由~「返り血」が少ない喧嘩相手?~) 2017年2月1日 日銀金融政策決定会合~トランプとFTPLの狭間で~ 2017年1月30日 メインシナリオのリスク点検~不幸を生むドル高は続かず~ 2017年1月27日 週末版 2017年1月26日 日銀による国債買い入れオペ見送り~為替からの読み方~ 本邦個人投資家の対外資金フロ一動向(2016年12月分) 2017年1月25日 貿易収支の調整経路~「理不尽な円高」は不可避か~ 2017年1月23日 ECB理事会を終えて~窮屈になる緩和環境~ 2017年1月20日 週末版 2017年1月19日 改善が顕著なユーロ圏の与信・物価状況~ECBは慢心せず~ 2017年1月18日 メイ英首相演説を受けて~反EUの「悪い見本」になるのか?~ 2017年1月18日 ECB理事会プレビュー~「可能な限り、現状維持」が本音~ 2017年1月13日 週末版(円相場における実需と投機の現状について~対外証券投資にまつわる懸念事項も~) 2017年1月13日 週末版(円相場における実需と投機の現状について~対外証券投資にまつわる懸念事項も~) 2017年1月16日 「国際金融のトリレンコノを通じた日中止較 2017年1月16日 週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)~ユーロの独り負けだった過去3年~) 2017年1月5日 「国際金融のトリレンコノを通じた日中止較 2017年1月5日 「国際金融のトリレンコノを通じた日中止較 2017年1月5日 「国際金融のトリレンコノを通じた日中止較 2017年1月5日 「2017年のドル相場について~空中戦はどこまで続くか~ 2017年1月4日 2017年のドル相場について~空中戦はどこまで続くか~ 2017年1月4日 2017年のドル相場について~空中戦はどこまで続くか~		
2017年1月30日 日銀金融政策決定会合~トランブとFTPLの狭間で~ 2017年1月27日 週末版 2017年1月26日 日銀による国債買い入れオペ見送り〜為替からの読み方〜 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年12月分) 2017年1月25日 貿易収支の調整経路~「理不尽な円高」は不可避か〜 2017年1月25日 貿易収支の調整経路~「理不尽な円高」は不可避か〜 2017年1月23日 ECB理事会を終えて~窮屈になる緩和環境〜 2017年1月20日 週末版 2017年1月19日 改善が顕著なユーロ圏の与信・物価状況〜ECBは慢心せず〜 2017年1月19日 改善が顕著なユーロ圏の与信・物価状況〜ECBは慢心せず〜 2017年1月19日 日の敵にされる4つの通貨〜対米黒字を稼ぐ「悪」の枢軸・〜 2017年1月17日 日の敵にされる4つの通貨〜対米黒字を稼ぐ「悪」の枢軸・〜 2017年1月18日 ECB理事会プレビュー〜「可能な限り、現状維持」が本音〜 2017年1月13日 週末版(円相場における実需と投機の現状について〜対外証券投資にまつわる懸念事項も〜) 2017年1月12日 トランブ次財大統領会見について〜トランブはトランブのまま〜 2017年1月15日 国家金融のトリレンマ」を通じた日中比較 2017年1月16日 週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)〜ユーロの独り負けだった過去3年〜) 2017年1月5日 「国家金融のトリレンマ」を通じた日中比較 2017年1月5日 「国本版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)〜ユーロの独り負けだった過去3年〜) 2017年1月5日 「2017年のドル相場について〜空中戦はどこまで続くか〜		
2017年1月30日 メインシナリオのリスク点検~不幸を生むドル高は続かず~ 2017年1月27日 週末版 2017年1月26日 日銀による国債買い入れオペ見送り~為替からの読み方~ 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年12月分) 2017年1月25日 貿易収支の調整経路~「理不尽な円高」は不可避か~ 2017年1月23日 民田事金を終えて~窮屈になる緩和環境~ 2017年1月20日 週末版 2017年1月19日 改善が顕著なユーロ圏の与信・物価状況~ECBは慢心せず~ 2017年1月18日 メイ英首相演説を受けて~反EUの「悪い見本」になるのか?~ 2017年1月18日 メイ英首相演説を受けて~反EUの「悪い見本」になるのか?~ 2017年1月17日 目の敵にされる4つの通資・対米黒字を稼ぐ「悪」の枢軸?~ 2017年1月16日 民田事金のプレビュー~「可能な限り、現状維持」が本音~ 2017年1月13日 週末版(円相場における実需と投機の現状について~対外証券投資にまつわる懸念事項も~) 2017年1月12日 トランプ次財大統領金見について~トランプはトランプのまま~ 2017年1月16日 週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)~ユーロの独り負けだった過去3年~) 2017年1月5日 「回水・数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
2017年1月27日 週末版 2017年1月26日 日銀による国債買い入れオペ見送り〜為替からの読み方〜 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年12月分) 2017年1月25日 貿易収支の調整経路〜「理不尽な円高」は不可避か〜 2017年1月23日 ECB理事会を終えて〜窮屈になる緩和環境〜 2017年1月20日 週末版 2017年1月19日 改善が顕著なユーロ圏の与信・物価状況〜ECBは慢心せず〜 2017年1月19日 メイ英首相演説を受けて〜反EUの「悪い見本」になるのか?〜 2017年1月17日 目の敵にされる4つの通貨〜対米黒字を稼ぐ「悪」の枢軸?〜 2017年1月17日 目の敵にされる4つの通貨〜対米黒字を稼ぐ「悪」の枢軸?〜 2017年1月13日 週末版(円相場における実需と投機の現状について〜対外証券投資にまつわる懸念事項も〜) 2017年1月13日 週末版(円相場における実需と投機の現状について〜対外証券投資にまつわる懸念事項も〜) 2017年1月11日 「国際金融のトリレンマ」を通じた日中比較 2017年1月16日 週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)〜ユーロの独り負けだった過去3年〜) 2017年1月5日 「回豚金融のトリレンマ」を運動として、コーロの独り負けだった過去3年〜) 2017年1月5日 2017年のドル相場について〜空中戦とどまで続くか〜 2016年1月4日 2017年のドル相場について〜空中戦とどまで続くか〜		
本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年12月分) 2017年1月25日 貿易収支の調整経路~「理不尽な円高」は不可避か~ 2017年1月23日 ECB理事会を終えて~窮屈になる緩和環境~ 2017年1月19日 改善が顕著なユーロ圏の与信・物価状況~ECBは慢心せず~ 2017年1月19日 改善が顕著なユーロ圏の与信・物価状況~ECBは慢心せず~ 2017年1月18日 メイ英首相演説を受けて~反EUの「悪い見本」になるのか?~ 2017年1月17日 目の敵にされる4つの通貨~対米黒字を稼ぐ「悪」の枢軸?~ 2017年1月16日 ECB理事会プレビュー~「可能な限り、現状維持」が本音~ 2017年1月13日 週末版(円相場における実需と投機の現状について~対外証券投資にまつわる懸念事項も~) 2017年1月12日 トランプ次期大統領会見について~トランプはトランプのまま~ 2017年1月16日 国際金融のトリレンマ」を通じた日中比較 2017年1月6日 週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)~ユーロの独り負けだった過去3年~) 2017年1月5日 FOMC議事要旨(12月13~14日開催分)を受けて 2017年1月4日 2017年のドル相場について~空中戦はどこまで続くか~ 2017年1月4日 2017年のドル相場について~空中戦はどこまで続くか~	2017年1月27日	週末版
2017年1月25日 貿易収支の調整経路~「理不尽な円高」は不可避か~ 2017年1月23日 ECB理事会を終えて~窮屈になる緩和環境~ 2017年1月19日 改善が顕著なユーロ圏の与信・物価状況~ECBは慢心せず~ 2017年1月18日 メイ英首相演説を受けて~反EUの「悪い見本」になるのか?~ 2017年1月17日 目の敵にされる4つの通貨~対米黒字を稼ぐ「悪」の枢軸?~ 2017年1月17日 目の敵にされる4つの通貨~対米黒字を稼ぐ「悪」の枢軸?~ 2017年1月16日 ECB理事会プレビュー~「可能な限り、現状維持」が本音~ 2017年1月13日 週末版(円相場における実需と投機の現状について~対外証券投資にまつわる懸念事項も~) 2017年1月13日 トランプ次期大統領会見について~トランプはトランプのまま~ 2017年1月11日 「国際金融のトリレンマ」を通じた日中比較 2017年1月6日 週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)~ユーロの独り負けだった過去3年~) 2017年1月5日 FOMの議事要旨(12月13~14日開催分)を受けて 2017年1月4日 2017年のドル相場について~空中戦はどこまで続くか~ 2016年12月27日 2017年、為替相場の勘所~実効ベースで複聴的に~	2017年1月26日	
2017年1月23日 ECB理事会を終えて~窮屈になる緩和環境~ 2017年1月20日 週末版 2017年1月19日 改善が顕著なユーロ圏の与信・物価状況~ECBは慢心せず~ 2017年1月18日 メイ英首相演説を受けて~反EUの「悪い見本」になるのか?~ 2017年1月17日 目の敵にされる4つの通貨~対米黒字を稼ぐ「悪」の枢軸?~ 2017年1月16日 ECB理事会プレビュー~「可能な限り、現状維持」が本音~ 2017年1月13日 週末版(円相場における実需と投機の現状について~対外証券投資にまつわる懸念事項も~) 2017年1月13日 にカージーの表別では、カージーの表別では、カージーの表別では、カージーの表別では、カージーの表別では、カージーの表別では、カージーの表別では、カージーの独り負けだった過去3年~) 2017年1月16日 週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)~ユーロの独り負けだった過去3年~) 2017年1月5日 FOMの議事要旨(12月13~14日開催分)を受けて 2017年1月4日 2017年のドル相場について~空中戦はどこまで続くか~ 2016年12月27日 2017年、為替相場の勘所~実効ペースで複眼的に~		
2017年1月19日		
2017年1月19日 改善が顕著なユーロ圏の与信・物価状況~ECBは慢心せず~ 2017年1月18日 メイ英首相演説を受けて〜反EUの「悪い見本」になるのか?〜 2017年1月17日 目の敵にされる4つの通貨〜対米黒字を稼ぐ「悪」の枢軸?〜 2017年1月16日 ECB理事会プレビュー~「可能な限り、現状維持」が本音〜 2017年1月13日 週末版(円相場における実需と投機の現状について〜対外証券投資にまつわる懸念事項も〜) 2017年1月12日 トランプ次期大統領会見について〜トランプはトランプのまま〜 2017年1月11日 「国際金融のトリレシマ」を通じた日中比較 2017年1月6日 週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)〜ユーロの独り負けだった過去3年〜) 2017年1月5日 FOMC議事要旨(12月13〜14日開催分)を受けて 2017年1月4日 2017年のドル中場について〜空中戦はどこまで続くか〜 2017年1月27日 2017年、為替相場の勘所〜実効ペースで複販的に〜		
2017年1月18日 メイ英首相演説を受けて〜反EUの「悪い見本」になるのか?〜 2017年1月17日 目の敵にされる4つの通貨〜対米黒字を稼ぐ「悪」の枢軸?〜 2017年1月16日 ECB理事会プレビュー〜「可能な限り、現状維持」が本音〜 2017年1月13日 週末版(円相場における実需と投機の現状について〜対外証券投資にまつわる懸念事項も〜) 2017年1月12日 トランプ次期大統領会見について〜トランプはトランプのまま〜 2017年1月11日 「国際金融のトリレンマ」を通じた日中比較 2017年1月6日 週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)〜ユーロの独り負けだった過去3年〜) 2017年1月5日 FOM(議事要旨(12月13〜14日開催分)を受けて 2017年1月4日 2017年のドル相場について〜空中戦はどこまで続くか〜 2016年12月27日 2017年、為替相場の勘所〜実効ベースで複眼的に〜		
2017年1月17日 目の敵にされる4つの通貨~対米黒字を稼ぐ「悪」の枢軸?~ 2017年1月16日 ECB理事会プレビュー~「可能な限り、現状維持」が本音~ 2017年1月13日 週末版(円相場における実需と投機の現状について~対外証券投資にまつわる懸念事項も~) 2017年1月12日 トランプ次期大統領会見について~トランプはトランプのまま~ 2017年1月11日 「国際金融のトリレンマ」を通じた日中比較 2017年1月6日 週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)~ユーロの独り負けだった過去3年~) 2017年1月5日 FOMO議事要旨(12月13~14日開催)を受けて 2017年1月4日 2017年のドル相場について~空中戦はどこまで続くか~ 2016年12月27日 2017年、為替相場の勘所~実効ベースで複眼的に~		
2017年1月16日 ECB理事会プレビュー~「可能な限り、現状維持」が本音~ 2017年1月13日 週末版(円相場における実需と投機の現状について~対外証券投資にまつわる懸念事項も~) 2017年1月12日 トランプ次期大統領会見について~トランプはトランプのまま~ 2017年1月11日 「国際金融のトリレンマ」を通じた日中比較 2017年1月6日 週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)~ユーロの独り負けだった過去3年~) 2017年1月5日 FOMC議事要旨(12月13~14日開催分)を受けて 2017年1月4日 2017年のドル相場について~空中戦はどこまで続くか~ 2016年12月27日 2017年、為替相場の勘所~実効ペースで複眼的に~		
2017年1月13日 週末版(円相場における実需と投機の現状について〜対外証券投資にまつわる懸念事項も〜) 2017年1月12日 トランプ次期大統領会見について〜トランプはトランプのまま〜 2017年1月11日 「国際金融のトリレシマ」を通じた日中比較 2017年1月6日 週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)〜ユーロの独り負けだった過去3年〜) 2017年1月5日 FOMC議事要旨(12月13〜14日開催分)を受けて 2017年1月4日 2017年のドル相場について〜空中戦はどこまで続くか〜 2016年12月27日 2017年、為替相場の勘所〜実効ペースで複眼的に〜		
2017年1月12日 トランプ次期大統領会見について〜トランプはトランプのまま〜 2017年1月11日 「国際金融のトリレンマ」を通じた日中比較 2017年1月6日 週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)〜ユーロの独り負けだった過去3年〜) 2017年1月5日 FOMC議事要「12月13〜14日開催分)を受けて 2017年1月4日 2017年のドル相場について〜空中戦はどこまで続くか〜 2016年12月27日 2017年、為替相場の勘所〜実効ベースで複眼的に〜		
2017年1月11日 「国際金融のトリレンマ」を通じた日中比較 2017年1月6日 週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)〜ユーロの独り負けだった過去3年〜) 2017年1月5日 FOMC議事要 [ 12月13〜14日開催分)を受けて 2017年1月4日 2017年のドル租場について〜空中戦はどこまで続くか〜 2016年12月27日 2017年、為替相場の勘所〜実効ベースで複眼的に〜		
2017年1月5日 FOMC議事要旨(12月13~14日開催分)を受けて 2017年1月4日 2017年のドル相場について~空中戦はどこまで続くか~ 2016年12月27日 2017年、為替相場の勘所~実効ベースで複眼的に~		
2017年1月4日 2017年のドル相場について〜空中戦はどこまで続くか〜 2016年12月27日 2017年、為替相場の勘所〜実効ベースで複眼的に〜	2017年1月12日 2017年1月11日	
2016年12月27日 2017年、為替相場の勘所~実効ベースで複眼的に~	2017年1月12日 2017年1月11日 2017年1月6日	週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)~ユーロの独り負けだった過去3年~)
2016年12月26日   2017年のブラックスワンはどこに現れるのか?	2017年1月12日 2017年1月11日 2017年1月6日 2017年1月5日	週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)~ユーロの独り負けだった過去3年~) FOMC議事要旨(12月13~14日開催分)を受けて
	2017年1月12日 2017年1月11日 2017年1月6日 2017年1月5日 2017年1月4日 2016年12月27日	週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)〜ユーロの独り負けだった過去3年〜) FOMC議事要旨(12月13〜14日開催))を受けて 2017年のドル相場について〜空中戦はどこまで続くか〜 2017年、為替相場の勘所〜実効ペースで複眼的に〜